

様式1

平成30年度

学 校 自 己 評 価 表

智頭町立智頭小学校

教 育 方 針	【学校教育目標】 「 夢に向かって のびる 杉っ子 」 【目指す子どもの姿】 ○学ぶ意欲を持ち、夢や希望に向かい進んで学ぶ子ども 【 確 かな 学 力 】 ○命を大切にし、自分も友達も大切にする子ども 【 豊 かな 心 】 ○健康や体力づくりに自ら取り組む子ども 【 健 や かな 体 】 ○ふるさとに誇りを持ち、明日のふるさとをつくる子ども【自己有用感の育成】			重点 目標	○確かな学力の育成 ①基礎基本の定着 ②授業改善 ③読書と家庭学習 ○豊かな心の育成 ①自他の人権や命 ②規範意識・ルール・マナー ③認め合い尊重 ○健やかな体と自己管理能力の育成 ①生活習慣 ②健康作り・体力作り ○地域に根ざした学習の創造 ①ふるさと智頭の地域 ②ふるさと智頭の人々 ③ふるさと智頭のこと ○保小中の連携 ①保小中 15 年間の連携 ②プロブレム・ギャップの解消と連携 ○地域に開かれた信頼される学校 ①積極的な情報発信 ※「三位一体の取り組み」・・・めざす児童像・めざす学校像・めざす教師像 (4：十分に達成できた 3：ほぼ達成できた 2：あまり達成できず 1：ほとんど達成できず)			
評価項目	具体項目	現状	めざす姿	具体的方策	評価基準	自己評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
確かな学力	○書く力・話す聞く力の向上	○大事な言葉を意識して書くことはできるようになってきた。個人差が広がっている。 ○相手を意識した話し方や聞き方が弱い。	○相手・目的・条件に応じて、自分の思いや考えを整理して書いている。 ○はっきりした声で話し、反応（見る・頷く・つぶやく）しながら聞いている。	・苦手意識のある児童を見取り、青ペンで友達の考えを視写させ、書き方を学ばせる。マス目プリント等を準備し、字数等の条件をつけて書かせる。 ・聞くときは聞くことに集中させ、反応や話に関係するつぶやきを奨励して、青ペンで書く時間を保障する。相手を意識した張りのある「かしこい声」で話すように返事や発表で指導する。	・児童アンケートのノート作り・書くに関する項目の平均達成率が 80 %以上。 ・児童アンケートの発表・音読、聞くに関する項目の平均達成率が 70 %以上。 ・児童アンケートの家庭学習に関する項目の平均達成率が 80 %以上。 ・児童アンケートの読書、図書館活用に関する項目の平均達成率が 70 %以上。			
	○家庭学習の徹底（習得・習熟・自主学习）	○家庭学習時間は向上したが、質（集中・内容）の向上が必要。	○集中して家庭学習に取り組み、音読や自主学习に進んで取り組んでいる。	・全校で1日の宿題を実際にする時間を設け、集中した家庭学習の仕方を指導する。（定期指導）保護者への音読の協力を依頼するとともに、発表の機会を設け、音読を徹底する。				
	○読書意欲の向上	○図書館の利活用は増えているが、個人差が大きく家庭読書も十分ではない。	○本に親しみ、進んで読書するとともに、本を活用している。	・図書館活用授業を継続するとともに、学校で本を借りる時間を設ける等、読書活動が日常生活に定着するように月末図書統計も活かして働きかける。				
豊かな心	○規範意識の向上	○集団生活のきまりを守ろうとする意識が低い。	○集団生活のきまりを守って生活している。	・廊下は右側を歩くように、全職員で声をかける。 ・名札、安全タスキを毎日着用するために、毎朝学級で調べる。 ・掃除の開始時刻を守るために、掃除3分前に放送し、13時35分のチャイムで掃除を始めさせる。	・児童アンケートでの、「廊下は右側を歩く」の項目が8割以上。 ・各学級9割達成。 ・掃除時間には、児童が掃除をしている。			
健やかな体	○基本的な生活習慣や衛生習慣の定着	○生活習慣、衛生週間の定着が不十分な子どもがいる。	○生活習慣、衛生週間が定着している。	・保小中で連携してノーメディアデー1週間にチャレンジする。 ・健康観察に生活習慣、衛生週間に関する項目を設定し、担任が聞く。	・ノーメディアデーの達成日が増えている。 ・生活習慣、衛生週間調べが、月初めよりも改善する。			
	○良い姿勢の習慣化	○姿勢の保持が難しい。	○良い姿勢を保持して学習できる。	・立腰について、担任が朝の会、学習の始まりと終わりの挨拶の時に声かけをする。	・児童アンケート「授業の初めと終わりの時に立腰ができた」の結果、肯定的な意見が 80%。			
	○体力の向上	○児童の運動の偏りが見られる。昨年度の新体力テストの結果、柔軟性、握力に課題があった。	○目標に向かって進んで体力作りに取り組む。	・月毎にチャレンジする遊び・運動を設定する。体育委員会の児童を中心にして月1回の集会を開く。	・児童アンケート「休憩時間に進んで外遊びや体力作りに取り組んでいる」の項目で肯定的な意見が 70%以上。			
保護者・地域との連携	○保護者・地域との連携による「開かれた・信頼される学校づくり」	○統合7年目を迎え、保護者・地域の智頭小学校への期待もより一層高い。 ○各地区で培われた文化や伝統・歴史を大切に、更にそれらをより良く継承していく必要性がある。	○学校の思いや願いが地域に確実に伝わっている。 ○保護者が学年懇談や教育講演会などに多数出席する。 ○地域の方々、学校支援ボランティアの方々の温かい支援を受けながら地域と関わる行事などを行う。	○本年度も学校便り「満天星」告知端末・まちコミ・ホームページなどを有効活用し、情報を必要に応じて発信する。 ○保護者にとって魅力ある懇談会や講演会を企画・運営する。保護者を巻き込んだ活動を企画する。（育・menの会など） ○地域の方々に呼びかけ、児童の学習に関わる面や学年行事などで、地域の支援を受けながら、児童と地域との関わりをより一層深める。	○アンケートなどで、学校からの情報提供満足度が 90 %以上。 ○まちコミ登録率 100 % ○アンケートで学校便りや学年便りなどを読んでいるという回答が 90 %以上。また、内容に満足しているが 70 %以上。 ○懇談会や講演会の出席率が 70 %以上。 ○行事ごとのアンケートや地域との交流や行事などで、活動に対する肯定的な意見をもらう。			

